



「低周波音」対策に効果的な仮囲い

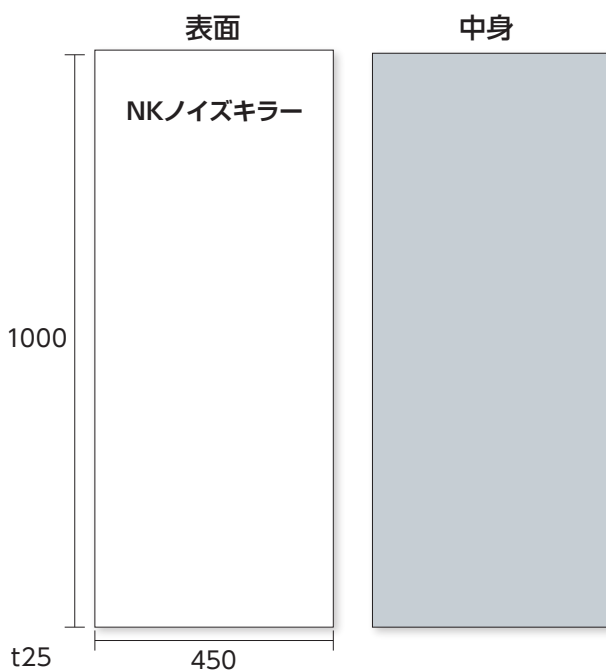
工事現場において発せられる金属打撃音などの「高周波ノイズ」は、いわゆる“騒音”として騒音規制法の対象となっているのに対して、振動ふるい機や送風機、プラントのエンジン音等から発せられる「低周波音（低周波ノイズ）」には法的規制・条例がない。しかしながら、低周波音が長期間続くことで周辺住民が健康被害を訴えるケースが近年増えており、工事現場において低周波音対策は見逃ごせない課題となっている。

「NKノイズキラー」は、これまで対策が難しかった低周波音を低減することができる仮囲い。高周波ノイズ対策に効果的な同社の「NK環境フェンス2型」を併用することで、近隣への対策をより効果的に行うことができる。



プラントのエンジン音などの吸音にも効果的

製品写真



NK環境フェンス2型との併用例



河川そばの防潮堤の耐震強化工事での使用例（「NK環境フェンス2型」との併用）。近隣に住宅がある環境でも騒音対策に高い効果を発揮し、市民生活への影響を小さなものにできる。



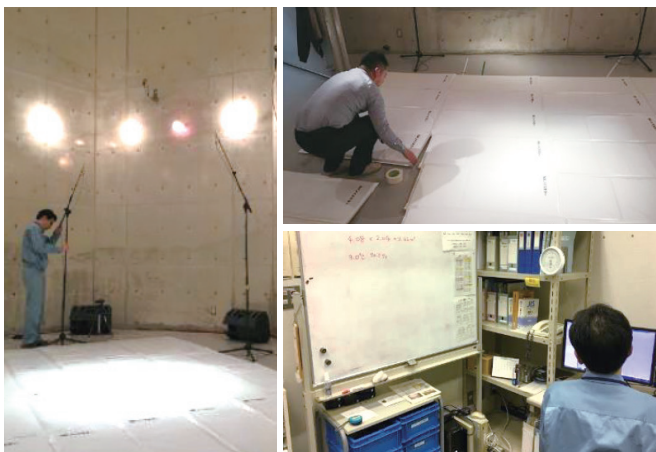
「NK環境フェンス2型」は、1型と遮音シートを組み合わせたシート状制振材。

仮囲い

残響室吸音率の測定試験結果

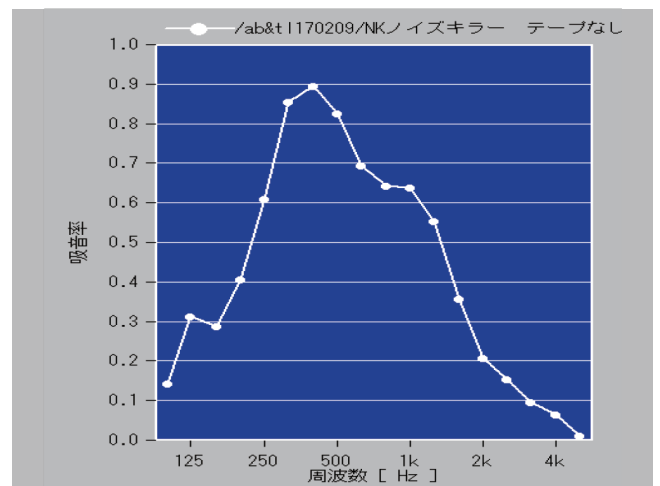
試験の概要

- ①測定施設：岡山県工業技術センター
- ②測定日：2017年2月9日
- ③測定方法：JIS A 1409に準拠した残響室吸音率の測定
- ④測定状況：NKノイズキラー（t25×450×1000）を縦に4列、横に7列の計28枚を床に並べ、それぞれの間をテープで目張りして一体としたものと、目張りせず並べただけの2種類のデータを測定した。



測定結果

100Hzから4000Hzにわたる広い帯域で吸音効果が確認され、特に吸音率のピークである400Hzの帯域では90%という高い吸音率を観測した。人間の可聴周波数は20Hz～2000Hzと言われており、「NKノイズキラー」はこの帯域をカバーする優れた吸音性能を有することが実証された。



目地テープなしの測定結果

NK緑の環境フェンス



仮囲い

現場で美しい植物を育てます、そしてCO₂の削減、年中楽しめます

ストップ・ザ 温暖化。

温室効果ガスである二酸化炭素 (CO₂) の吸収源として植物の有効性が注目されています。日本機電では、工事現場の仮囲いの壁面を利用して植物を育てる [NK緑の環境フェンス] を開発しました。工事期間中、NK緑の環境フェンスを設置することでCO₂の削減、地球温暖化防止を提案します。

NK緑の環境フェンス

商品コード	型番	仕様	幅 (W)	高さ (H)	重量 (kg)	呼称
220230	TM500-3M	平面用	500	3,000	20	枚



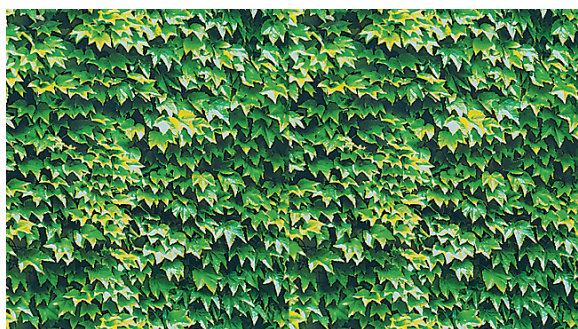
棚田ボックス
10kg

周囲の環境に配慮し
安全に作業が行えます。

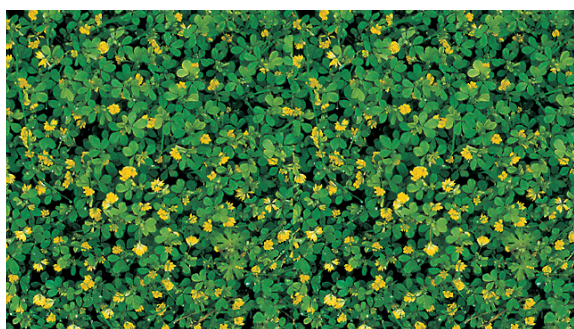


表面にロールシール ツタを貼っています。

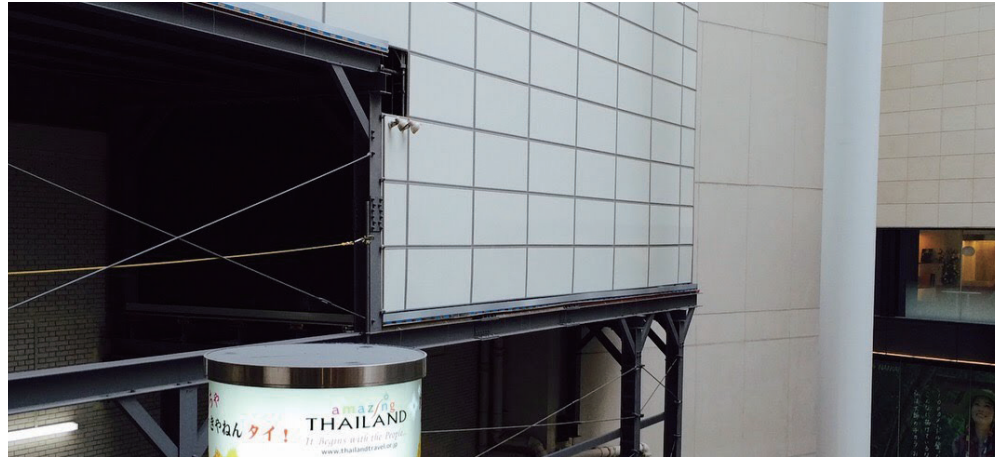
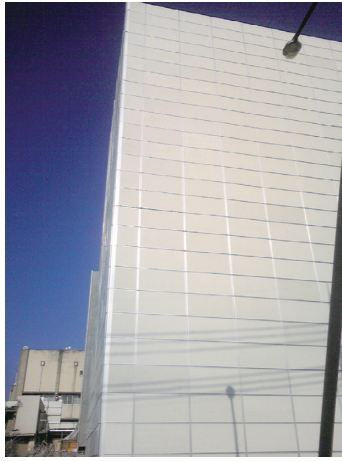
NK ロールシール 対応



ツタ



黄小花



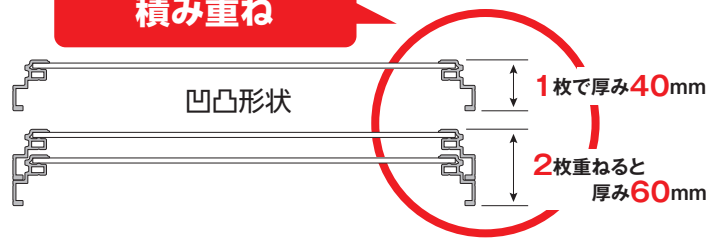
輸送コストの削減

防音パネルの形状が凹凸にできているため、積み重ねた時かさばらず10t車に800枚積み、輸送コストの削減に繋がります。

■特殊サイズ(W=1500・1200・900・600)も別途ございます。

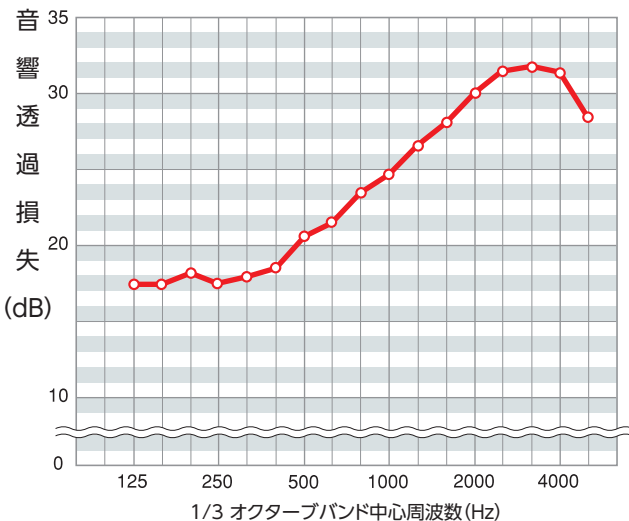
※インチタイプかメートルタイプをご指定ください。

NK防音パネルの積み重ね



音響透過損失試験成績書

試験体		仮設防音パネル SBPNI 18	
面密度	一般断面	3.9kg/m ²	測定日 平成19年7月20日
	全体平均	6.0kg/m ²	透過部面積 1.56m ²
試料寸法	862mm×1819mm	第4残響室	22.0℃
		温湿度	91.0%
総厚	3.8mm(パネル部)	第5残響室	21.5℃
		温湿度	84.0%

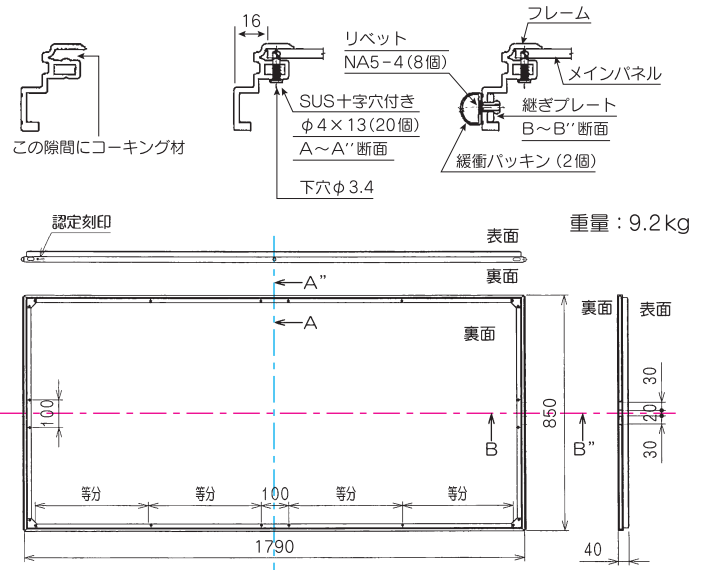


中心周波数 (Hz)	音響透過損失 (dB)	中心周波数 (Hz)	音響透過損失 (dB)	中心周波数 (Hz)	音響透過損失 (dB)
100	—	400	18.5	1600	28.0
125	17.5	500	20.8	2000	29.7
160	17.5	630	21.6	2500	31.5
200	18.2	800	23.5	3150	31.9
250	17.7	1000	24.8	4000	31.6
315	18.2	1250	26.7	5000	28.3

本試験成績書は、JIS A 1416に準じて行った音響透過損失の試験結果であることを証する。 平成19年7月27日

財団法人 小林理学研究所

仕様



試験成績書 (該当する基準のないもの)

平成19年7月17日付けで受付けました試料の試験結果は、下記の通りでありますのでご通知します。なお、ご依頼の試料は防災対象物品に該当しませんが、消防法施行規則第4条の3第4項の基準(45°メッセルバーナー法)を準用したものであることを申し添えます。

試験依頼の目的		仮設防音パネルの防災性能の確認			
物品の種類	防音パネル	商品名(銘柄)	SBPNI 18		
試料の明細	●素材:アルミニウム合金(芯材)高密度ポリエチレン ●厚さ:3.8mm ●質量:3,900g/m ²				
加熱時間	試験項目	残炎時間 (秒)	残じん時間 (秒)	炭化面積 (cm ²)	参考基準 消防法施行規則 第4条の3第3項 残炎時間 5秒以下 残じん時間 20秒以下 炭化面積 40cm ² 以下
	No.	1	0	0	
2分加熱	2	0	0	0	
	3	0	0	0	
着炎後 6秒加熱	1	—	—	—	
	2	—	—	—	

財団法人 日本防災協会